

2月3月 行事予定

月	日	曜日	行事	時間	集合場所	参加費
2	1	土	里山保全体験(竹林の手入れ・竹細工)	9:30 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
	2	日	冬の野鳥観察会	8:00 ~ 11:00	レストハウス	300/100
	15	土	親子炭焼体験	10:00 ~ 15:00	宮谷戸炭焼施設	800
	23	日	ネイチャークラフト作り	10:00 ~ 15:00	円形広場	500
	8	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	15	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00 ~ 17:00		300/100
22	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	300/100		
3	1	土	里山保全体験(竹林の手入れ・竹細工)	9:30 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
	1	土	田畑作業体験(ジャガイモの植付け)	13:00 ~ 15:00		300/100
	1	土	田畑作業体験(ジャガイモ年間コース 植付け)	13:00 ~ 15:00		1200/800
	2	日	カブト虫の越冬幼虫観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス	300/100
	2	日	里山保全体験(シイタケの植菌)	13:00 ~ 15:00	レストハウス2F	300/100 500/1本 ホダギ
	16	日	初春の植物観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス	300/100
	16	日	ジュニアくらぶ 観察会	10:00 ~ 12:00	レストハウス	
	23	日	ネイチャークラフト作り	10:00 ~ 15:00	円形広場	500
	8	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	15	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00 ~ 17:00		300/100
	22	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00 ~ 12:00		300/100

<応募方法> 行事開催10日前までに一行事ごとにHPまたは往復はがきで参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入してお申し込み下さい。申し込み多数の場合は抽選になります。抽選の結果は行事の1週間前までにご連絡致します。HP <https://tzksatokura.org/> お問い合わせ tsuzuki-park@tmtv.ne.jp

2月 保全田畑部会 各エリア維持管理予定表		
日付	曜日	9時-12時 13時-17時
4	火	(H)バラ花壇、冬剪定
6	木	(H)バラ花壇、元肥、(I-①)バラの接ぎ木
11	火	(H)バラ花壇、竹チップ+牛フン
13	木	(D)アジサイ下草刈り
18	火	(G)(A1-②)畑作業-堆肥・耕運機
20	木	(B1)竹林の整備、竹細工の日 (C)梅林(エゴマ育成用)~ドウダン手前まで下草刈り
24	月	(A1-②)園路アズマネザサ除去
27	木	(園内)パトロール、(I-①)部会会議 (I-①)ジャガイモの植付けの準備

編集記

寒さが一段と厳しくなりました。一年で一番寒い2月。それでも、毎日事務所のシャッターを下ろす時には、少しづつ日が長くなっているのを感じられます。寒い日々あとの春が訪れる。四季があるからこそ季節の彩りが鮮やかになる。今年は雪景色を見れるかな…。肌をつきさす寒い時期も、冬の間しか見ることできない風景や植物の芽吹きが沢山あります。発見をしながら散策は楽しいものです。ご来園お待ちしております。事務局 M.Y



冬の青空とばじょうじ

里山の恵み

■PURE ハチミツ 計り売り 1g/8円 1びん/1800円

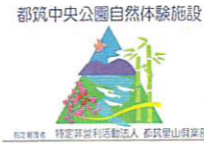
■竹細工各種 200円

■青竹材 200円/1m

■バラ炭 袋入り 750g/300円 5Kg/1200円

■竹酢液 濾過品 2L/500円 蒸溜品 500ml/500円

都筑中央公園はグリーンマトリックスシステムの中核となる区内最大の総合公園



里山便り

1月号

令和7年1月31日 第269号

発行：特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部 理事長 岩嶋 伸幸 〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央57-8 Tel& Fax 045-941-0987

■里山保全体験(竹細工) 1/4(土)

4家族11名の参加者と7名のサポーターで今年最初のイベントが開催されました。年明け早々ということもありヘルメットをかぶっての竹の伐採は控え竹細工に専念しました。澄みきった青空に竹ヘリコプターが6機と竹トンボが6匹、勢いよく飛び立ちました。



A.T



■お正月遊びと餅つき 1/4(土)



今年は年末年始の連休も長い親子もいたでしょうが、まだまだお正月気分たっぷりのなか、お正月遊びとお餅つきが行われました。子供達は凧を上げるため走り回り、コマ回しは紐を巻き付けるのに悪戦苦闘しながら楽しんでいました。竹馬は最初から一人で乗りこなすのは難しいので、お父さんがしっかりサポートして親子で楽しむ光景があちこちで見られました。

この日のお餅は我が里山のお米ついたお餅です。海苔巻き、きな粉にチョコの3色餅にいただきました。また、恒例の綿飴作り体験に加えて、今年はポップコーンが登場しました。走り回ってお腹が空いた子供達を満たせたと思います。冬の寒い日の短い時間でしたが笑顔いっぱいの中央公園でした。

親子自然体験 T.H





炭焼き 1月の活動

【各種竹材の伐採】 次年度炭焼き用竹材（2回、計 360 kg） / 音フェスピラミッド用竹材 2.5m×9 本 / カエルの卵保護ネット用竹材 5~6m×11 本

【ドラム缶・MK-1 窯炭焼き】

今回の炭焼きにおける問題

この半年間の炭焼き不調の原因を探る試験を続けてきたが、確たる結論が得られていない。そこでこれまでの結果を再吟味し、次の仮説を基にいくつかの工夫を取り入れて再度挑戦することにした。

仮説1 窯内部の空気の流れが通風孔から窯上部へではなく直接煙道部へ通り抜けるように流れているために窯全体に熱が回らず（対流が起きない）、自発炭化が不十分になったのではないかと。

仮説2 経年劣化による窯本体の裏側の亀裂の出現、ドラム缶の内窯・外窯、煙突部分の変形や破損など、窯の構造の変化が考えられ、外部から冷気が入り込むために温度上昇が妨げられているのではないかと。今回は**仮説1**を確認するため、炭材の詰め方や通風口からの送風が窯上部に流れるよう遮蔽板を手前に置くなどの工夫をして実験を行った。

結果は、火入れ時間を5時間まで伸ばしてみたものの工夫した効果はなく、煙道口の温度が100℃程度しか上がらず、終盤では前回と同様に煙が窯前面から漏れ出てくるバックフローが起きていた。繰返し焚口の開閉を繰り返して精錬を行ったが、煙道口の温度は思うほどには上がらず、精錬継続を断念し窯締めとした。回収率・良炭率ともに従来と変わらない結果に終わった（温度管理グラフ掲載の数値を参照）。

【「音の竹フェス2025」(青葉台東急スクエア/フィリアホール)】 参加しました。

「音の竹フェス2025」 1/30日(木)

都筑里山倶楽部として、竹製打楽器を各種持ち込んで参加してきました。目玉は高さ約2mの竹のピラミッドで、打楽器に見立てて会場内に設置し、演奏に合わせて竹製バチでリズムをとり参加者に楽しんでもらいました。市内小学校の演奏や竹墨で描いた絵の展示もあり、楽しい音楽会・展覧会でした。

炭焼き部会 J.T



竹ピラミッド大人気

竹琴

見つけたよ 春の足音

24. Feb



淡いピンクのワビスケ



蒴果(さくか)を破ったらほこりの様な種子



手にとると...これがランの種



お茶の花



こぼれ落ちた種と殻

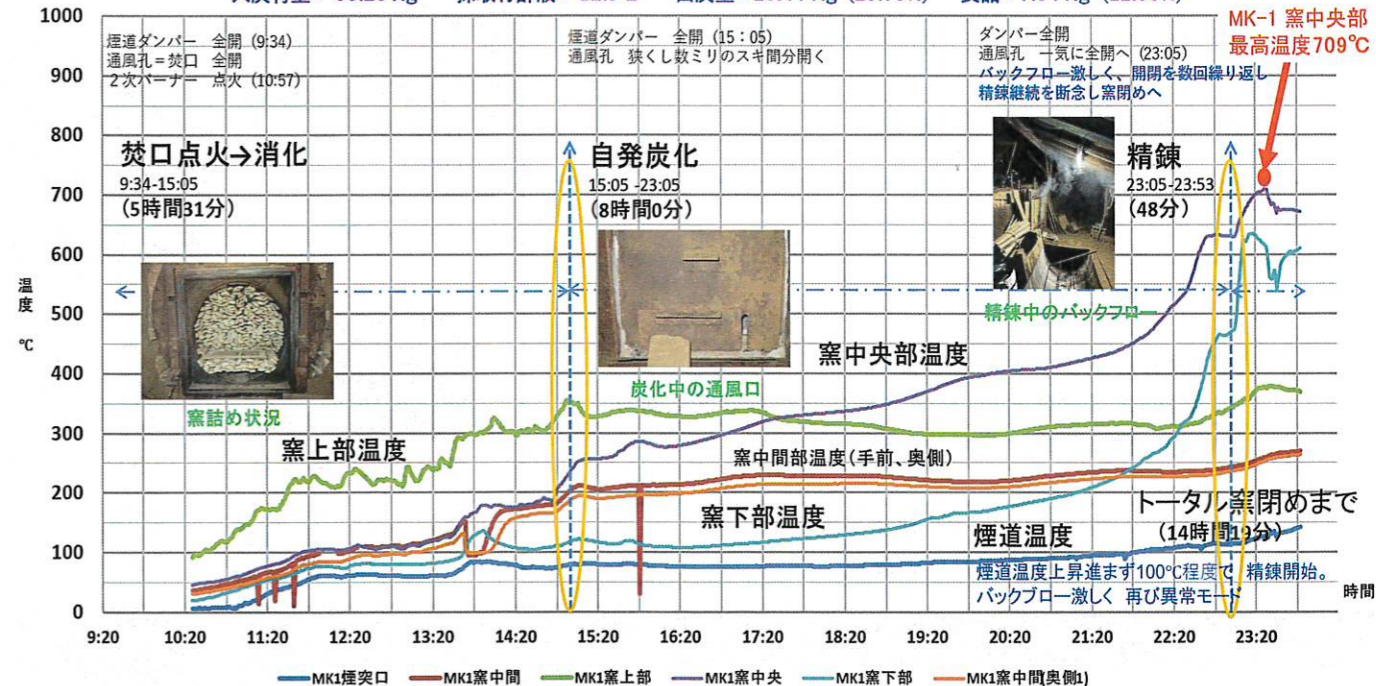


淡い香のロウバイ

2025年1月18日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 竹炭焼き結果

第253回(窯改修後11回目) 炭焼き、気温 5.5℃、天気 晴れ

炭材: 長さ68cm長寸 (伐採日 2024年3月13日 乾燥日数丸竹: 23日、割竹: 288日)
入炭材量: 65.26 Kg 採取竹酢液: 12.9 L 出炭量: 19.44 Kg (29.79%) 良品: 7.54 Kg (11.55%)



下の竹は手前に



焚口据え付け後の様子



さらに手前に遮蔽板

炭焼き部会 J.T